

三浦半島の夏まき4月どり栽培における加工・業務用寒玉系キャベツの有望品種の特性

加工・業務用途に向く寒玉系キャベツは、抽苔等の問題から4～5月が端境期となっており、国産ニーズが高まっています。そこで、晩抽性で加工適性が高く、多収性の夏まき用寒玉系品種として、‘夢ごろも (TCA-400)’、‘冬のぼり’、‘YR冬景色’を選定し、その特性を明らかにするとともに、夏まき栽培で4月上旬～下旬まで連続的に生産・出荷できる作型を開発しました。



表1 4月収穫時における各品種の特性および収量性 (H19-H20)

年度	品種	結球重 (g)	結球緊度 (g/cm ³)	抽苔程度	収量 (t/10a)
H20	冬のぼり	1,970	0.67	2.3	11.6
	夢ごろも (TCA-400)	2,555	0.69	2.1	14.9
H19	冬のぼり	2,055	0.62	3.0	12.2
	夢ごろも (TCA-400)	2,752	0.67	2.0	16.3
	YR冬景色	2,687	0.69	2.0	16.0

平成19年及び20年の各4月16日調査。播種：平成19年及び20年の各8月22日、栽植密度：51×33cm (5,941株/10a)。抽苔程度3に達するまで出荷可能と想定。



図1 ‘夢ごろも’ 外観

表2 3～5月収穫における結球重および品質の変化 (H20)

品種	項目	3月		4月		5月	
		18日	2日	16日	30日	15日	29日
冬のぼり	結球重 (g)	1,482	1,803	1,970	2,144	1,987	1,978
	裂球発生率 (%)	0	0	0	0	0	0
	抽苔程度	1.0	1.5	2.3	2.6	2.3	2.1
	腐敗株率 (%)	0	8	4	0	25	58
	芯重/結球重 (%)	3.0	2.9	2.7	2.9	3.2	3.2
夢ごろも (TCA-400)	結球重 (g)	1,829	2,187	2,555	2,525	2,594	2,436
	裂球発生率 (%)	0	0	0	8.3	0	0
	抽苔程度	0	1.4	2.1	2.8	2.3	2.8
	腐敗株率 (%)	0	0	0	8	33	75
	芯重/結球重 (%)	3.1	3.0	2.7	4.1	3.5	3.2



図2 ‘夢ごろも’ 縦断面の外観